

研究タイトル：

日本近世における民間信仰に関する研究



氏名：熊澤 美弓 / KUMAZAWA Miyu E-mail: kumazawa@toyota-ct.ac.jp

職名：講師 学位：博士(国際文化)

所属学会・協会：日本民俗学会, 伝承文学研究会, 日本生活文化史学会
東海近世文学会, 和漢比較文学会, 東アジア恠異学会

キーワード：白澤, 民間信仰, 日本近世文学, 日本文化

技術相談
提供可能技術：
・日本古典籍目録作成
・日本近世文化, 近世文学についての出前授業や講演

研究内容： 神獣「白澤」を中心とした日本近世文化における霊獣の受容

古来、人々は自分たちの常識で説明ができないことについて、「神の御業」であったり、「妖怪の仕業」であったりといった説明をしてきた。その原因のひとつとして、生き物も対象であった。そして、その生き物も、人間の身近にいる動物の場合もあり、想像上の生き物である場合もあった。

本研究でとりあげる「白澤」は、そうして信仰対象となった中国発祥の想像上の生き物のひとつである。

黄帝に世の中の妖怪についての知識を与えたという伝承を持つこの獣は、古くは『抱朴子』にも関連する記述が見られ、明の時代には官服の意匠としても使用されていた。この白澤が、日本に伝わったのち、その姿や能力を変化させながら受容され、特に近世中期以降「白澤避怪図」として人々のなかに流通していく。

この白澤を中心とした民間信仰の文化についての研究として、文献だけではなく、民俗学的視点やフィールドワークを取り入れながら追究を続けており、人々の経済活動を通じ生活文化史のなかでの白澤の取り扱われ方やその位置付けを考察し、新たな知見を提示することを目指している。これまで、現存する白澤の資料を文学的作品や美術品、学問的著述を通じてその描かれ方による分類や白澤の札を取り扱う人々によつて商業活動のなかでの受容について考察を行っている。特に、戸隠御師による配布に着目し、さらに他地域での白澤避怪図を配布する人々との関係から、山岳信仰や御師によるネットワークについて考察を深めている。

加えて、当時の政権を担っていた徳川政権でも、その霊廟である日光東照宮拝殿杉戸に描かれている。中国でも、『三才図会』などで王権と関わりのある獣としての面があげられており、このことは、政権による王権の正当性を主張するひとつとしての霊獣の利用が考えられる。

このように、白澤というひとつの形象を中心とした文化の広がりやそれを媒介とした人々の活動を多角的視野から明らかにし、近世文化史、近世文学、民間信仰への新たな視座を提示したいと考えている。

また、民間信仰として、動物だけでなく、人間を神として祀ることも古来行われている。愛知県豊田市にある枝下用水について、その用水史を編む事業に参加し、人が神として信仰された事例として、開削者西澤真蔵について、実際の資料に記された実像と物語として伝えられる信仰像との比較をするなど民俗学的研究も進めた。編纂委員としての成果として、『枝下用水120年史資料集 その1』(豊田土地改良区・豊田市矢作川研究所,2011)・『枝下用水120年史資料集 その2』(豊田土地改良区,2013)『枝下用水史』(風媒社,2015)が公刊されている。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	